

2023年6月8日

患者目線で革新的医療政策実現を目指すパートナーシップ
(PPCIP : Partnership for Patient-Centered Innovative Policy)

「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会報告書（案）」 提示に際した PPCIP の見解

去る6月6日に、厚生労働省が主催する「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」（以下「本検討会」）において、日本が直面する医薬品産業に関する様々な課題と対策の方向性をまとめた報告書（案）が示されました。

これまで、PPCIPでは、日本が再び直面しているドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロスの問題などを例に挙げ医療政策立案の過程で、必ずしも医療の受益者である患者・市民の声が反映されていないことが一因となって、こうした患者・市民にとっての不利益が生じていることを指摘し、医療政策への患者参画の重要性について訴えてまいりました。

本検討会がまとめた報告書（案）の「ドラッグ・ラグ／ドラッグ・ロスの懸念」の項で、患者団体からの意見が取り上げられ、また問題の解消にむけた取り組みの中でも患者参画に関する項目が記載されるなど、患者・市民の声が医療政策に反映されることの重要性について、本検討会構成員の間で共通認識が得られたことに、一定の前進があったものと捉えています。

わが国でも、一般市民を含む患者団体全体の意見を集約する場や、患者・市民の声を全般的に取りまとめ、政策立案のプロセスに組み込む機会の構築に向けた動きが見られ始めているものの、PPCIPでは、他の先進国と比較して、依然として不十分であるのが現状であると認識しています。患者・市民が主体となって、あるべき医療の姿を考え、その声が明確に政策に反映されることが、最適な医療サービスの実現に繋がると考えます。

本報告書（案）をきっかけに、より具体的な医療政策における患者参画の仕組みづくりに関する議論が活発化することを強く希望します。

私たち PPCIP は、患者・市民の代表者だけでなく、医療従事者、アカデミア、その他の様々なステークホルダーとも連携し、患者目線での革新的な医療政策の実現に向けて協働していきます。



◆団体概要

患者目線で革新的医療政策実現を目指すパートナーシップ

(PPCIP : Partnership for Patient-Centered Innovative Policy)

PPCIP は、患者中心の医療を実現するためにシンクタンクである一般社団法人新時代戦略研究所 (INES) が活動母体となり、患者団体/患者支援団体・医療従事者・アカデミアをはじめとする様々なステークホルダーとともに立ち上げたパートナーシップです。2023年現在、20の賛同団体と6名の賛同者が参加しており、今後の活動として患者団体/患者支援団体・医療従事者・アカデミアの連携を目的にオープンフォーラムの開催などを検討しております。

PPCIP では、政府や医療従事者だけでなく、患者や支援者、その他社会保障に関わるステークホルダーの様々な意見を集め、最適な医療制度を構築すべく提言活動を行っております。

【本件に関する問合せ先】

患者目線で革新的医療政策実現を目指すパートナーシップ 事務局

(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL : 03-3291-0118 E-mail : ppcip@jc-inc.co.jp